

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

平成30年7月30日※1  
(前回公表年月日:平成29年11月10日)

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
東日本栄養医療専門学校	平成15年3月31日	武井 宣之	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-266-3300																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人 山崎学園	昭和42年4月10日	遠山 嶺	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-266-7977																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士															
医療	医療専門	医薬学科	平成23年文部科学大臣告示第166号	—															
学科の目的	学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、衛生並びに医療に関する知識技術を習得させ、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を育成することを目的とする。																		
認定年月日	平成27年 3月31日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
2	昼間	1815時間	1125時間	330時間	360時間	時間	時間												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	単位時間													
80人	23人	0人	3人	6人	9人														
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日	成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、卒業までに履修させる授業時間数の履修状況等を総合的に勘案して行う。 校長が成績評価の基準に従い認定する。															
長期休み	■学年始: 4月 1日～4月 8日 ■夏季: 7月21日～8月26日 ■冬季: 12月22日～1月 8日 ■学年末: 2月28日～3月31日	卒業・進級条件		■課外活動の種類 学生会・ボランティア・食育サークル・野球・サッカー・バドミントン等 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・長期欠席者への指導等の対応 ・本人並びに保護者への連絡確認	課外活動		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録販売者</td> <td>②</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ヘルスケアアドバイザー</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	登録販売者	②	12人	12人	ヘルスケアアドバイザー	③	12人	12人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
登録販売者	②	12人	12人																
ヘルスケアアドバイザー	③	12人	12人																
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) ドラッグストア、調剤薬局、病院等 ■就職指導内容 担任による指導と平行して、就職担当者による指導 ■卒業者数 12 人 ■就職希望者数 12 人 ■就職者数 12 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (平成 29 年度卒業生に関する平成30年5月1日 時点の情報)	主な学修成果(資格・検定等)※3		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するもの記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄															
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 平成29年4月1日時点において、在学者23名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者23名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任制による生徒指導と生活相談	■中退率 0 %																	
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有(無) ※有の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																		
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.c-p.ac.jp/fukushi/">https://www.c-p.ac.jp/fukushi/</a>																		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者を含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験資格及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
 本学科は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に等に関する法律(以下「医薬品医療機器法」という)に基づく一般用医薬品取扱者の資質の確認の為に実施される、都道府県知事による「登録販売者試験」受験により有効な実務経験を身に付けるため6か月間の校外実務実習が必修科目となっている。  
 一般用医薬品販売店舗(ドラッグストア等)における校外実務実習に関しては、各企業と学校との契約により、「登録販売者に必要な実践的な実務内容」の実施を確保している。  
 実習に関しては、  
 ① 学生の実習状況の把握の為、実習ノートの利用や学生からの実習状況の聞き取り等を実施  
 ② 企業等との連携は、店舗訪問や企業本部の担当者との情報交換により適正な実習の確保に配慮  
 以上を、企業との連携の2本柱としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
 近年の多様化複雑化するドラッグストア業界等に対応出来る人材育成の為に、教育課程編成委員会からの意見、特に現在社会で求められているスキル等の意見を取り入れ、職員会議・教科担当者会議等で内容に関する審議を行い、委員会を教育課程の編成機関として位置づける。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成30年7月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
武井 宣之	東日本栄養医薬専門学校	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	
外丸 裕子	東日本栄養医薬専門学校	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	
神保 京子	公益社団法人 群馬県栄養士会	平成30年6月17日～平成33年3月31日(4年)	①
小林 正実	一般社団法人 群馬県薬剤師会	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	①
三田 賢亮	株式会社 MFM	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	③
竹村 奈美	株式会社 クスリのアオキ	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	③
植竹 恵子	東日本栄養医薬専門学校	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。  
 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)  
 ②学会や学術機関等の有識者  
 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期  
 年間開催数 2回(毎年6月、10月)  
 (開催日時)  
 第1回 平成29年 6月10日 13:00～13:40  
 第2回 平成29年10月21日 13:00～14:15

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況  
 カリキュラムの編成においては、多様化するドラッグストア等の現状を編成委員会の意見を参考に登録販売者として必要な知識に止まらず、販売技術の向上等のカリキュラムの充実に活用している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
 企業が現場で求める栄養士像を踏まえ、職業に必要な専門知識を教授する事に重点を置いている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容  
 ① 一般用医薬品販売企業(ドラッグストア・レギュラーチェーン店)本社との間で、校外実務実習の受入覚書を交わし、学生としての身分ではなく、従業員の一員としての実習に重きを置き、現場実務を体験させている。但し、平素の学習に支障をきたさないような学生としての勤務体系の確保にも併せて配慮している。  
 ② 担当が、企業等を月1回程度巡回して校外実務実習状況の聞き取りと、改善や要望意見の聴取を実施。更に問題があれば、個別に対応している。  
 ③ 学生に日々の実習記録「実習ノート」を作成させ、学生の反省点や改善への意識啓蒙、担当企業職員からの要望、改善等の意見を詳細に確認改善している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
校外実務実習	登録販売者として、医薬品に関する情報知識を習得し、更に接客技術を向上させる。	マツモトキヨシ クスリのアオキ ウエルシア薬局 クスリのマリエ 等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 座子としては、医薬品の販売に付随してFUDF用リボンを芯頭において、主に現場稼働のための薬剤師(講師)又は現役薬剤師(講師)による授業を確保している。  
 ○ 群馬県薬剤師会研修会等への参加、薬品メーカーの勉強会への参加研修を依頼している。  
 校外実務実習は、実習の担当者として都道府県の試験の条件で、薬剤師又は登録販売者の下での実習と定義付けられている。  
 ○ 直接の各担当者は、企業内研修を定期的に通じている。  
 実習指導担当教員は登録販売者とし、実習現場の組織・経営方法等を企業現場訪問を通じて直接研修し、更に、校外実務実習は授業を併うことから、経験豊富な教員による生徒指導を実施

(2) 研修等の実績  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 平成29年7月27日 症状・部位別医薬品研修(咳の症状) 日本医薬品登録販売者協会  
 平成29年8月16日 症状・部位別医薬品研修(禁煙) 日本医薬品登録販売者協会  
 平成29年9月21日・22日 症状・部位別医薬品研修(肩こり) 日本医薬品登録販売者協会  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 平成29年11月29日 学生の意欲を引き出す面談ノウハウ 退学防止面談ノウハウ研究会  
 平成30年3月 指導力向上のための実務研修 ウエルシア薬局

(3) 研修等の計画  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 平成30年7月～9月 症状・部位別医薬品研修 日本医薬品登録販売者協会  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 群馬産業保健総合支援センターのカウンセリング担当相談員を講師として招聘し、全教職員を対象とした講習会を開催  
 指導力向上のための実務研修 ウエルシア薬局

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針  
 人々の食と健康を管理、啓蒙する業務に第一線で従事する栄養士養成校の責務として、絶えず時代の流れに伴い変化する情報を把握し、その情報を精査して分析し、社会に貢献できる栄養士教育に活用することを目的として各学校関係者から意見指導を受けることに配慮しています。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・教育人材像は定められているか 学校の特色はなにか
(2) 学校運営	事業計画は定められているか 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか
(3) 教育活動	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか カリキュラムは体系的に編成されているか 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 資格取得の指導体制はあるか
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
(5) 学生支援	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか 保護者と適切に連携しているか
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集活動は、適正に行われているか 学生募集活動において、教育効果は正確に伝えられているか
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 財務について会計監査が適正におこなわれているか
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。  
 (3) 学校関係者評価結果の活用状況  
 評価書を現場職員に職員会議等を通じて伝達、改善意見や検討課題の洗い出しと教育効果向上のための具体的方針施策の決定等に活用しています。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
細谷 博之	東日本栄養医薬専門学校父母の会	在任期間中	父母の会会長
神保 京子	公益社団法人 群馬県栄養士会	平成30年6月17日～平成33年3月31日(4年)	企業委員
小林 正実	一般社団法人 群馬県薬剤師会	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	企業委員
三田 賢亮	株式会社 MFM	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	企業委員
竹村 奈美	株式会社 クスリのアオキ	平成29年4月1日～平成33年3月31日(4年)	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )  
 URL: <https://www.c-p.ac.jp/fukushi/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動その他学校運営の状況に関する情報を提供し、社会全体から信頼及び企業等との連携や協力を得る。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	・入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、・卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	・教職員数、教職員の組織・専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動(サークル活動、学生会活動)等の状況
(6)学生の生活支援	・学生支援への取り組み状況
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金の取り扱い、活用できる就学支援措置の内容
(8)学校の財務	・事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
(9)学校評価	・自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法  
[URL:http://www.c-p.ac.jp/fukushi](http://www.c-p.ac.jp/fukushi)

授業科目等の概要

(医療専門課程医薬学科) 平成30年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			医薬品概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の本質</li> <li>・医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因</li> <li>・副作用、不適正な使用と有害事象、他の医薬品や食品との相互作用と飲み合わせ、小児や高齢者等への配慮、プラセボ効果、医薬品の品質</li> <li>・適切な医薬品選択と受信勧奨</li> <li>・薬害の歴史 医薬品による副作用等に対する基本的考え方、医薬品による副作用等にかかる主な訴訟</li> </ul>	一年次前・後期	30	2	○			○			○		
○			人体学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体の構成、細胞</li> <li>・人体の構造と働き</li> <li>・脳や神経系の働き、皮膚・骨・関節・筋肉などの運動器、目・鼻・耳などの感覚器、胃・腸・肝臓・肺・心臓・腎臓などの内臓器</li> <li>・消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系</li> </ul>	一年次前・後期	60	4	○			○				○	
○			薬剤学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の働く仕組み</li> <li>・全身作用と局所作用、内用薬と外用薬（体内で薬がたどる運命、薬の体内での働き、剤型ごとの違いと適切な使用方法）</li> <li>・症状からみた主な副作用</li> <li>・全身に現れる副作用、精神神経系に現れる副作用、体の局所に現れる副作用</li> </ul>	一年次前期	60	2	○			○					○
○			薬物学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢方処方製剤、生薬製剤</li> <li>・歯や口中に用いる薬 歯痛・歯槽膿漏用薬、口内炎用薬</li> <li>・禁煙補助剤</li> <li>・滋養強壮保健薬</li> <li>・公衆衛生用薬 消毒薬、殺虫剤・忌避剤</li> <li>・一般用検査薬 尿糖・尿蛋白検査薬、妊娠検査薬</li> </ul>	一年次前・後期	195	13	○			○					○
○			薬事法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正薬事法、医薬品の販売業の許可、医薬品の定義と範囲と基準、一般用医薬品と医療用医薬品、毒物・劇物、一般用医薬品のリスク区分と情報提供、薬局または店舗における掲示、容器・外箱への記載事項、添付文書への記載事項</li> </ul>	一年次前・後期	30	2	○			○					○
○			医薬品適正安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の適正使用情報</li> <li>・医薬品の安全対策</li> <li>・医薬品の副作用情報等の収集と評価及び措置、医薬品による副作用等が疑われる場合の報告</li> <li>・医薬品の副作用等による健康被害の救済</li> <li>・一般用医薬品に関する主な安全対策</li> <li>・医薬品の適正使用のための啓発活動</li> </ul>	一年次前・後期	30	2	○			○					○



○		登録販売者の責務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録販売者とは</li> <li>・一般用医薬品について</li> <li>・効能と副作用について</li> <li>・説明責任について</li> <li>・類似薬品の消費者への提示について</li> <li>・脱法ドラッグ・購入品の量</li> </ul>	二年次前期	30	2	○			○	○							
○		健康とアンチエイジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の病態と治療</li> <li>・糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高尿酸血症</li> <li>・整形外科領域疾患の病態と治療</li> <li>・消化器、呼吸器疾患の病態と治療</li> <li>・婦人科、泌尿器科疾患の病態と治療</li> <li>・殺菌、消毒について</li> <li>・老化とは アンチエイジングと生活習慣、アンチエイジングドック、アンチエイジングサプリメント</li> </ul>	二年次後期	30	2	○			○	○							
○		人材育成論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション技法、敬語について</li> <li>・仕事の基本とビジネス文書</li> <li>・一般教養</li> <li>・経済環境の変化と企業</li> </ul>	一年次後期・二年次前期	30	2	○			○							○	
○		栄養学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素とは エネルギーと三大栄養素について</li> <li>・ビタミンについて 脂溶性ビタミン、水溶性ビタミン</li> <li>・ミネラルについて ナトリウム、カルシウム、鉄など</li> <li>・食事摂取基準とライフステージ別栄養</li> <li>・食事摂取基準とは ライフステージ別栄養について</li> <li>・食事調査 エネルギー、栄養素摂取量</li> <li>・食事摂取基準と摂取量の評価</li> </ul>	二年次後期	30	2	○			○	○							
○		健康食品学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穀類、イモ類の特性とその加工品</li> <li>・種実類の特性とその加工品</li> <li>・豆類の特性とその加工品</li> <li>・野菜類、果実類の特性とその加工品</li> <li>・キノコ類、藻類の特性とその加工品</li> <li>・魚介類の特性とその加工品</li> <li>・食肉類の特性とその加工品</li> <li>・卵類、乳類の特性とその加工品</li> </ul>	二年次後期	30	2	○			○	○							
○		ビジネスマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナーについて</li> <li>・自己紹介・あいさつ・身だしなみ</li> <li>・敬語</li> <li>・二重敬語、使い分け、名詞の尊敬、謙譲</li> <li>・電話対応、来客対応</li> <li>・受付、案内、上座・下座について</li> <li>・紹介マナー、名刺交換</li> </ul>	二年次後期	30	2	○			○								○
○		ヘルスケア基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品の定義・概要・管理</li> <li>・栄養・食生活・運動・病態生理</li> <li>・ドラッグストアの対応に関する知識・技術</li> </ul>	一年次前期	120	8	○			○	○							

○		ヘルスケア応用	・ヘルスケアに関する実践知識 体の症状とヘルスケア	一年次後期 二年次前	165	11	○			○									
○		販売士	・小売業の種類 ・マーチャンダイジング ・ストアオペレーション ・マーケティング ・販売・経営管理	二年次前 後期	75	5	○			○									
○		ハーブと健康	・ハーブの基礎知識 ・ハーブ各論 ・アロマセラピーの基礎知識 ・精油の基礎知識 ・セルフマッサージについて	二年次後期	30	2	○			○									
○		体育	・オリエンテーション後グループによる選択種目の実施 バスケットボール      テニス サッカー                      ウォーキング ランニング                      ソフトボール バドミントン                      その他	二年次前 後期	30	2		○		○									
○		保健体育	・応急手当とは ・スポーツにおける外傷 ・体格や体力について ・運動とは	一年次 前期	15	1	○			○									
○		校外実務実習	・登録販売者の基本的な業務内容を実際の店舗運営に参加しながら学び、一般用医薬品の商品知識に止まらず広く店舗運営・接客マナーなども学ぶ。	一年次後期	360	9				○			○					○	○
合計			26 科目		1815 単位時間(			105 単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学期末において行う試験、実習の成績を勘案して行い、6割以上の成績をもって合格とする。	1学年の学期区分	前後期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。